# 青梅市自治会連合会だより





会長 髙橋 正

### ごあいさつ

青梅市自治会連合会は、昭和35年5月の発足以来、本年で60周年を迎えることができました。歴代役員をはじめ多くの会員の皆様には感謝を申し上げます。時代とともに自治会活動に求められるものも変化してきております。平成29年1月に市と締結した連携基本協定を生かし、防火防災、防犯活動の強化、高齢者の見守り、また女性の参画、PTA・学校や、他団体などとの幅広い連携を進めてまいります。これからも青梅市自治会連合会へのご理解、ご支援をよろしくお願い致します。



青梅市長 浜中 啓一

### 創立60周年を祝して

青梅市自治会連合会が発足60周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申 し上げます。歴代の連合会会長、役員の皆様をはじめ、各支会の皆様の弛まぬ御 努力に深く敬意を表します。

近年、大きな災害が続けて発生しており、自治会の役割が今まで以上に重要になっております。 市では、平成29年に締結した連携基本協定にもとづき、自治会への加入促進や退会防止など、自治会活動活性化に向けた支援に取り組んでおり、今後も、積極的に支援してまいります。

結びに、自治会連合会の皆様の更なる御協力をお願い申し上げますとともに、 貴会の御発展と皆様の御健勝を御祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

## 自治会連合会役員60周年コメント



顧問 井上 一雄

青梅市自治会連合会が発足60周年を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。

昭和35年の発足以来今日まで生活環境の改善と市民福祉の向上のためにご努力をいただいてまいりました歴代 役員の皆様方に敬意と感謝を申し上げる次第です。

後継化対策や防災対策など自治会に期待するものは大きなものがあります。今後も行政や各種団体と連携する とともに、お祭りや各種イベントを通じて会員相互の連携を図り安心安全なまちづくりのために頑張ってください。 青梅市自治会連合会ならびに会員皆様方のますますのご発展をご祈念し、ごあいさつとさせていただきます。



副会長 宮口 泉

自治会連合会を60年の長きにわたり支え、発展させてこられた先輩諸氏に心より敬意を表します。

新たなステップに向かう私どもにとって、かなり厳しい状況が待ち受けていることも事実です。

この厳しい現実を切り拓き、新 たな局面を創出していくため、組 織一丸となって活動してまいります。



会計·第9支会長 小花 紀彦

青梅市自治会連合会、創立六十 周年まことにおめでとうございます。 今後も会員の皆様と共に一致団 結し、青梅市自治会連合会および 各自治会が益々ご発展されること を御祈念申し上げます。



第1支会長 山本 佳昭

おめでとうございます。自治 会の発展には文化伝統の継承、 継続が不可欠です。第一支会は 青梅大祭等を中心に活動してい ます。



第2支会長 宇津木 順一

「住みよいまちづくりは自治会を土台に」「自分たちの町は自分たちで守る」との自覚と自負をもって、更なる自治会活動の進展を願っている。



第3支会長和山 満雄

青梅市自治会連合会創立60周 年を迎えた今年は、新型コロナ ウイルスの影響下での新たな地 域コミュニティ強化策を模索し たいと思います。



第4支会長 土方 功

60周年おめでとうございます。 行政と一丸となって、安心で 住みよいまち青梅と成りますよ う、益々のご発展をご祈念申し 上げます。



第5支会長 平岡 孝

60周年おめでとうございます。 長きに亘る皆様のご尽力を礎 に現在の連合会があることを思 い、地域の安全・安心に取り組 んでまいります。



第6支会長 水野 剛史

青梅市自治会連合会創立60周 年おめでとうございます。

連合会との連携と協力により、 ともに発展に努めていきたいと 考えております。



第7支会長 井上 良平

自治会連合会も60年を迎え、 地域の防火防災、地域コミュニ ティ発展のために高齢化が進む 中、年齢を超えての協力・支援 を進めてまいります。



第8支会長高橋 誠

創立60周年おめでとうございます。

連合会の限りない発展と、関係各位のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、お祝いとさせていただきます。



第10支会長 澁谷 章

連合会創立60周年を迎え、皆様の歴史と実績の積み上げ、改めて実感いたしました。

今後も連合会との連携を深め、 自治会活動に努めたいと思います。



第11支会長 宿谷 久男

連合会創立60周年おめでとう ございます。諸先輩方が青梅市 と手を携え、地域の発展にご尽 力されたことに対して、感謝い たします。

### 自治会連合会のあゆみ

#### 平成22年度

・8月4日(水) 創立50周年記念式典 歴代連合会会長・正副支会長・来賓計81人参加

#### 平成23年度

- ・市役所および市民センター窓口に加入促進のぼり旗を市の協力により設置
- ・支会のイベント等の情報を掲載したカレンダーを作成・配布(東京都地域の底力発展事業助成を活用)

#### 平成24年度

・8月24日(金) 中国広東省中山市「社会管理日本視察団」の視察受け入れ

#### 平成25年度

- ・「加入促進検討委員会」および「退会防止検討委員会」を設置
- ・10月4日(金)~7日(月) 国民体育大会(スポーツ祭東京2013)に協力

#### 平成26年度

- ・市長に要望書を提出 ①広報おうめへの自治会活動等紹介コーナーの新設 ②自治会連合会の加入自治会に対する自 治会振興交付金の増額
- ・12月1日(月) 自治会連合会すまいるカード事業を開始(企業・商店等30社が協力、東京都地域の底力発展事業 助成を活用)

#### 平成 2 7 年度

- ・教育委員会教育長に要望書を提出 ①支会・自治会の防災訓練への相互連携および児童・生徒、保護者へ参加の呼びかけ依頼 ②小学校入学予定者の就学時健康診断実施の際に、自治会加入促進チラシ等の配布依頼
- ・8月15日 広報おうめに、各支会・自治会の活動紹介を目的とした自治会活動紹介コーナーの新設(毎月15日号)

#### 平成28年度

- ・「地域コミュニティ活性化検討会議」を設置
- ・小学校入学予定者の保護者に対し、就学時健康診断の実施時に「自治会加入チラシ」の配付を開始
- ・すまいるカード更新(有効期間:平成28年4月1日から平成31年3月31日までの3年間)
- ・1月19日(木) 「青梅市自治会連合会と青梅市との連携基本協定」を締結
- ・2月11日(土) 協定締結記念講演会 テーマ「自治会の活性化と地域力の向上」、自治会長・市民等計72名参加
- ・3月1日(水) 東京都が設置した「東京都地域活動に関する検討会」に連合会長が初参加

#### 平成29年度

- ・「自治会加入のご案内」パンフレットを加入申込ハガキ付きに更新
- ・6月25日(日) 東京都・青梅市合同の風水害対策訓練が明星大学で実施され、各支会より計1,320名が参加
- ・7月30日(日)、31日(月) 各支会での課題報告、情報共有を行うため、支会長による宿泊研修を開催
- ・10月17日(火) 「青梅市自治会連合会と青梅市との連携基本協定」にもとづく青梅市との情報交換会を初開催
- ・3月5日(月) 社会福祉協議会、防犯協会および防火防災協会との情報交換会を初開催

#### 平成30年度

- ・東京都町会連合会に加入
- ・「自治会役員の負担軽減と女性の参画推進委員会」および「小・中学校PTA、学校との連携委員会」を設置
- ・自治会活動の現状と課題を把握するためのアンケートを市と協働で実施
- ・10月20日(土) 教育委員会との共催で「地域とともにある学校」をテーマに講演会を開催(銭谷眞美講師)
- ・12月2日(日) 奥多摩渓谷駅伝大会第80回を記念し、「支会、自治会の部」が新設、30チームが参加
- ・1月18日(金) 日本赤十字社東京都支部より1,580枚の救護用毛布の提供を受ける
- ・2月4日(月) 青梅市高齢者クラブとの情報交換会を初開催

#### 令和元年度

- ・市長に要望書を提出 ①高齢者の見守りに対する支援 ②掲示板へのカバー設置 ③地域防災の意識向上への支援 ④携帯電話ソーラー充電器の設置 (ロ頭要望) すまいるカードによる青梅市指定収集袋の協賛
- ・「事業委員会」、「総務委員会」および「広報委員会」の3つの専門委員会を設置
- ・自治会館の利用実態を把握するためのアンケートを市と協働で実施
- ・多摩ケーブルネットワークで、自治会連合会活動の紹介番組として「みんなの自治会」を開設
- ・すまいるカード更新(有効期間:平成31年4月1日から令和4年3月31日までの3年間)
- ・8月29日(木) 新聞折り込みで新町地区に「自治会加入のご案内」パンフレットを配布
- ・2月9日(日) 「これからの自治会を考える会」を支会長、副支会長、支会選出委員計36名で開催
- ・2月28日(金) 日本赤十字社東京都支部より1,610枚の圧縮バスタオルの提供を受ける
- ・3月1日(日) 青梅市自治会連合会だより創刊号を発行

# 歴代支会長名簿

	平成23年度			平成24年度				平成25年度				平成26年度				平成27年度				
連合会長	志	村	文	也	志	村	文	也	志	村	文	也	井	上	_	雄	井	上	_	雄
副会長	井	上	_	雄	井	上	_	雄	井	上	_	雄	髙	橋		正	髙	橋		正
会 計					Щ	﨑		隆	遠	藤	尚	利	貫	井	修-	一郎	伊	東		茂
第1支会	野	末	信	義	中	村	恒	夫	桑	田		_	久	保	洋	二	伊	東		茂
第2支会	尾	藤	徳	篤	尾	藤	徳	篤	髙	橋		正	髙	橋		正	髙	橋		正
第3支会	佐	藤	秀	夫	清	水	昭	男	関	塚	文上	七古	増	子	啓	三	本	橋	正	浩
第4支会	五十	ͰЩΕ	H	俊	久	保	利	夫	久	保	利	夫	伊	藤	武	夫	伊	藤	武	夫
第5支会	村	上	裕	美	原	島	芳	嗣	原	島	芳	嗣	小	峰	敏	明	小	峰	敏	明
第6支会	小	倉	三	明	和	田	憲	治	和	田	直	人	宮	寺	利	充	小	林	達	也
第7支会	中	島	邦	彦	中	島	邦	彦	井	上	忠	男	井	上	忠	男	浅	見	定	由
第8支会	Щ	﨑		隆	Щ	﨑		隆	武	藤	廣	司	武	藤	廣	司	宮	П		泉
第9支会	岩	本	市	雄	根	本	太	夫	根	本	太	夫	櫻	井	義	久	櫻	井	義	久
第10支会	半	田	保	之	遠	藤	尚	利	遠	藤	尚	利	吉	田	和	俊	吉	田	和	俊
第11支会	石	上		正	石	Ш	錦	_	宿	谷	富	雄	貫	井	修-	一郎	関	П	陽	_
		成2	8年	度	平	成2	9年	度		成3	0年	度	ŕ	う和え	元年月	き	f	5和2	2年度	芰
連合会長		成2	8年	<b>度</b> 正	事	成2	9年	<b>度</b> 正		成3	0年	<b>度</b> 正	高	<b>合和</b> 5	<b>亡</b> 年月	<b>き</b> 正	高	新2 橋	2年度	<b>麦</b> 正
連合会長副会長	平		8年				9年		平		0年				<b>亡年</b> 原				2年度	
	再高	橋		正	髙	橋	9年	正	平高	橋	0年	正	髙	橋	<b>元年</b> 原	正	髙	橋	<b>2年</b> 原	正
副会長	髙伊	橋藤	武	正夫	高宮	橋口		正泉	髙宮	橋口		正泉	高宮	橋口		正泉	高宮	橋口		正泉
副会長会計	平 高 伊 田	橋藤中	武	正 夫 雄	高富高	橋口野	公	正 泉 男	事富富高	橋口野	公	正泉男	高富高榎	橋口野	公	正泉男	高宮小	橋口花本	紀	正泉彦
副 会 長 会 計 第1支会	平 高 伊 田 岩	橋藤中澤	武	走	高富山	橋口野﨑	公	正 泉 男	事 高 宮 高 浅	橋口野見	公	正泉男行	高富高榎	橋口野戸	公直	泉男文	高宮小山	橋口花本	紀佳	泉彦昭
副 会 長 会 計 第1支会 第2支会	平 高 伊 田 岩 髙	橋藤中澤橋	武益	正 夫 雄 武 正	高山高	橋口野﨑橋	公雄	正 泉 男 一 正	平高宮高浅高	橋口野見橋	公俊	正泉男行正	高富富	橋口野戸木	公直順	正 泉 男 文 一	高宮小山宇湾	橋口花本木	紀佳順	泉彦昭一
副 会 長 会 計 第1支会 第2支会 第3支会	平 高 伊 田 岩 髙 田	橋藤中澤橋中	武益	正	高宮高山高今	橋口野﨑橋井	公雄健	正 泉 男 一 正 一	平高宮高浅高須	橋口野見橋田	公俊保	正泉男行正宏	高宮高榎字篠	橋口野戸木田	公直順俊	正泉男文一男	高宮小山宇和	橋口花本木山	紀佳順	正 泉 彦 昭 一 雄
副 会 長 会 計 第 1 支会 第 2 支会 第 3 支会 第 4 支会	事 高 伊 田 岩 髙 田 高	橋藤中澤橋中野	武益  益  公	正夫雄武正雄男	高宮高山高今高	橋口野﨑橋井野	公雄健公	正泉男一正一男	平高宮高浅高須高	橋口野見橋田野	公俊保公	正泉男行正宏男一	高宮高榎字篠高	橋口野戸木田野	公直順俊公	正泉男文一男男	高宮小山宇和土	橋口花本木山方	紀佳順	正泉彦昭一雄功
副 会 長 会 計 第 1 支会 第 2 支会 第 3 支会 第 4 支会 第 5 支会	平 高 伊 田 岩 高 田 高 宮	橋藤中澤橋中野野	武益  益  公	正夫雄武正雄男一	高宮高山高今高宮	橋口野﨑橋井野野	公雄健公良	正泉男一正一男一	平高宮高浅高須高宮	橋口野見橋田野野	公俊保公良	正泉男行正宏男一	高宮高榎字篠高宮	橋口野戸木田野野	公直順俊公	正泉男文一男男一	高宮小山宇和土平	橋口花本木山方岡	紀佳順満	正泉彦昭一雄功孝
副会長会計第1支会第2支会第3支会第4支会第5支会第6支会	平 高 伊 田 岩 高 田 高 宮 安	橋藤中澤橋中野野藤	武益 益 公 良	正夫雄武正雄男一努	高宮高山高今高宮宿	橋口野﨑橋井野野谷	公雄健公良三	正泉男一正一男一男	平高宮高浅高須高宮市	橋口野見橋田野野川	公俊保公良喜	正泉男行正宏男一芳	高宮高榎字篠高宮山	橋口野戸木田野野中	公直順俊公良	正泉男文一男男一章	高宮小山宇和土平水	橋口花本木山方岡野	紀佳順満剛	正泉彦昭一雄功孝史
副会長会 第1第2支会第2支会第4支会第5支会第6支会第7支会	平 髙 伊 田 岩 髙 田 髙 宮 安 浅	橋藤中澤橋中野野藤見	武益 益 公 良	正夫雄武正雄男一努由	高宮高山高今高宮宿土	橋口野﨑橋井野野谷屋	公雄健公良三	正泉男一正一男一男夫	平高宮高浅高須高宮市土	橋口野見橋田野野川屋	公俊保公良喜	正泉男行正宏男一芳夫	高 宮 高 榎 宇 篠 高 宮 山 井	橋口野戸木田野野中上	公直順俊公良	正泉男文一男男一章平	高宮小山宇和土平水井	橋口花本木山方岡野上	紀佳順満剛	正 泉 彦 昭 一 雄 功 孝 史 平
副 会 長	平 髙 伊 田 岩 髙 田 高 宮 安 浅 宮	橋藤中澤橋中野野藤見口	武益 益 公 良 定	正夫雄武正雄男一努由泉	高宮高山高今高宮宿土宮	橋口野崎橋井野野谷屋口	公雄健公良三喜	正泉男一正一男一男夫泉	平 髙 宮 高 浅 髙 須 高 宮 市 土 宮	橋口野見橋田野野川屋口	公俊保公良喜喜	正泉男行正宏男一芳夫泉	高 宮 高 榎 宇 篠 高 宮 山 井 高	橋     口     野     戸     木     田     野     野     中     上     橋	公直順俊公良良	正泉男文一男男一章平誠	高宮小山字和土平水井高	橋口花本木山方岡野上橋	紀 佳 順 満 剛 良	正 泉 彦 昭 一 雄 功 孝 史 平 誠